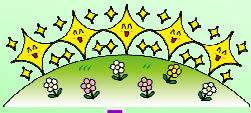


秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

地域支援だより



平成28年12月22日
第69号
秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

きらりNet

平成28年度 インクルーシブ教育システム構築推進事業「病弱・肢体不自由教育支援事業」
秋田きらり支援学校 公開研究協議会


11月30日（水）に公開研究協議会を開催しました。公開授業を基にした分科会では、県内外からの出席者36名と共に活発な意見交換が行われました。また、講師に文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官 分藤賢之氏をお招きし「自立活動の指導の充実を求めて」という演題での講演が行われました。全ての障害種に関わる講演内容であり、具体例を基にした分かりやすい説明により、学びを深められた参加者が多かったようです。自校での授業づくりに生かしたいという感想が多く寄せられました。

第1分科会【教科指導部会】
小学部6年 算数科 「場合の数」



テーマ『考えを伝え合う姿を育む授業づくり』

第2分科会【各教科等を合わせた指導部会】
中学部3年 生活単元学習
「中3かがやき10円カフェ」



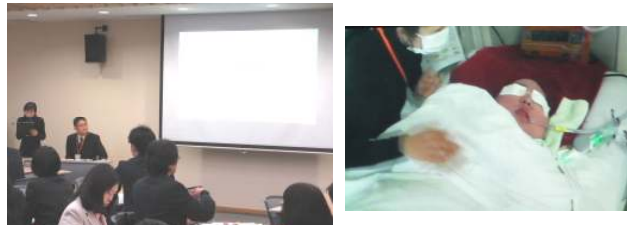
テーマ『人と関わる姿を育む授業づくり』

第3分科会【自立活動の指導部会】
高等部1～3年 自立活動
「竹取物語」～“やりたい”を伝えよう～



テーマ『伝える姿、役割を果たす姿を育む授業づくり』

【訪問教育VTR公開】
小学部6年 自立活動
「きいて さわって きづいて」



テーマ『気付いて表す姿を育む授業づくり』

講演会 演題「自立活動の指導の充実を求めて」 講演内容のキーワードで紹介します。

- ・説明責任を果たす
- ・実態把握から指導すべき課題の整理
- ・情報を収束する技法
- ・絡み合った指導課題の確信を追求する工夫
- ・抽象的な用語が示す意味や関係についての整理
- ・課題関連の視覚化
- ・指導の方向性を文章化
- ・学習内容を選択する際の視点
- ・自立活動の指導における専門性
- ・自立活動の改善・充実の方向性
- ・編成や作成の手順と各取組の視覚化
- ・自立活動の意義

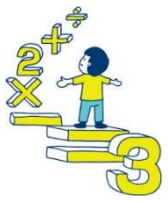


注目!

連載 きらりの授業 その⑦

小学部 算数

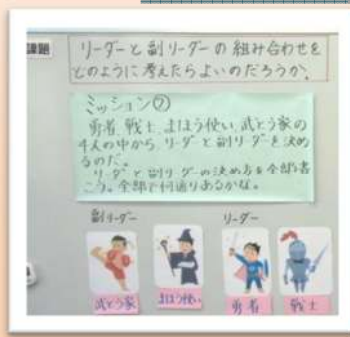
教科を主とした指導
を行う小学部6年生、
1名の授業です。



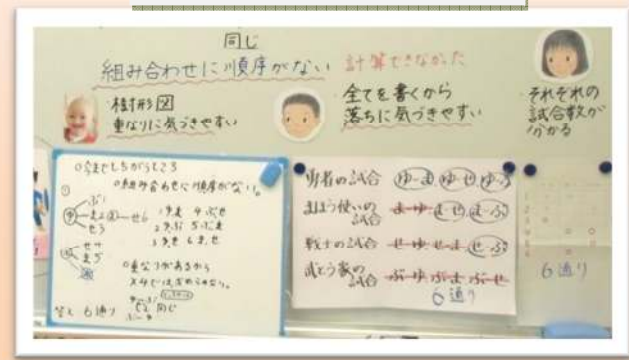
教科を主とした学習グループは児童の在籍は少ないですが、少人数であっても児童の学習意欲を高められる課題を設定したり、自分以外の考えを知ったり、考え方を比較・検討したりする学び合いの経験ができるよう各学級で工夫しています。

6年生算数科「場合の数」では、児童が好きなゲーム的要素を取り入れました。勇者となった児童が冒険の旅をしながら各ミッション（問題）に挑戦します。児童は、ミッションをクリアする楽しさを味わいながら課題解決ができました。また、児童が考えた解決方法の他に「友達の考え」として教師が複数の解法を提示しました。それらの考え方についていいと思うところ、工夫しているところを比較・検討する場面を設定しました。「〇〇さんのやり方が簡単にできそう」「△△さんの考え方をまねしてみたい」という算数の視点に基づいて考え方を比べる力が身に付いてきました。

学習意欲を高める課題設定



考えを比較・検討する活動



教育専門監のコーナー「数学的な見方・考え方を育む」

《「学校教育の指針」の小学校算数、学校教育指導の重点》

- 1 主体的な問題解決を通して、学習の仕方を身に付け、考える力を育てる指導
- 2 ねらいの明確化、手立ての工夫による基礎・基本の確実な定着を図る指導
- 3 算数的活動の充実を図り、算数のよさや学ぶことの楽しさに気付く指導

《主体的・協働的な学びに向けて》

課題の明確化、参加の平等性、的確・適時な評価・省察、探究の単元づくり、魅力的な教材、本質的な問い

《目指す児童の学びの姿》

- ◎子どもが、数量・図形の意味や学習問題を解決するための方法を見出し、表現している。
- ◎子どもが、学習問題を解く中で問いをもち、追究活動をしている。
- ◎子どもが、獲得した学習問題の解決方法のよさや仲間と追究するよさを感じている。
- ◎子どもが、学んだ知識・技能や学び方を学習問題の解決に結びつけるよさに気づき、活用している。

《主体的・協働的な学び》

アクティブ・ラーニングとは、主体的、協働的に、課題の発見・解決を目指す学習です。

本校では、学力の三要素の一つ「**思考力・判断力・表現力**」を、解決すべき課題と、協働の場での気づきにより深める「思考力」、多様な価値に触れ、自己の相対化によりもたらされる「判断力」、伝える相手と伝えたい意志・主張により生まれる「表現力」として少人数における教科の授業づくりに取り組んでいます。これらの能力を十分に発揮するための基盤を形成するものが「**主体性・多様性・協働性**」です。子どもたちは、問いに対する考えを交わし、新しい視点を得たり、合理的・論理的な思考を身に付けたりしていきます。そして、生活や学習の様々な場面にその視点や思考を生かしていくという、主体的・協働的な学びのある授業づくりを進めています。

文責：二階堂悟

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。

教頭 伊藤 敏博 地域支援部 佐藤 忠浩

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573 FAX：018(889)8575

「きらりNet」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>

